

■ 愛知県の上位・関連計画

あいちビジョン 2030	
計画のねらい	リニア中央新幹線が全線開業し、スーパー・メガリージョンの形成が期待される 2040 年頃を展望し、2030 年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す
めざすべき愛知の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・危機に強い愛知 ・すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知 ・イノベーションを創出する愛知 ・世界から選ばれる魅力的な愛知
基本目標	暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち～危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に～
主要な施策 (公共交通関連)	<ul style="list-style-type: none"> ● リニア中央新幹線の整備促進と開業効果の広域的な波及 ● 東海道新幹線を活かした東西連携の拡大 ● 名古屋駅のスーパーターミナル化 ● MaaS や自動運転の社会実装の推進などによるモビリティ先進県の実現 ● 中部国際空港の二本目滑走路の整備促進と利用圏の拡大 県営空港の通勤・航空やビジネス機の拠点化の推進 ● 名古屋港・衣浦港・三河港の機能強化 ● 多核連携型の圏域構造の維持・発展 ● 中部国際空港島及びその周辺地域のスーパーシティ化 ● シブリアークの整備と開業に向けた機運の醸成、シブリアークを活かした地域の魅力向上

第 2 期愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略	
計画の目的	「愛知県人口ビジョン」で示した将来展望や方向性の実現に向けた今後 5 か年（2020～2024 年度）の基本目標や取り組む施策を提示
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な経済環境に支えられ、毎年 2 万人程度の人口増加が続いたことから、「人口ビジョン」の想定を上回るペースで増加したが、2017 年には自然減に転じるとともに、日本人のみですでに人口減少している ・合計特殊出生率は 2015 年以降足踏みが続いていること
重視すべき視点	視点 1：時代の流れを力にした産業革新・集積 視点 2：人材を育て、生かす 視点 3：新たな魅力の創造と発信 視点 4：若い世代の希望をかなえ、誰もが活躍できる社会 視点 5：バランスのとれた持続可能な地域づくり
基本目標と施策	<ol style="list-style-type: none"> ① しごとづくり→モビリティに関わる新たな技術・サービスへの対応 ② 魅力づくり→「シブリアーク」整備の推進、「Aichi Sky Expo」の活用 ③ 人の流れづくり ④ 結婚・出産・子育て環境づくり ⑤ 暮らしの安心を支える環境づくり ⑥ 活力ある地域づくり→公共交通の維持・充実に向けた市町村や交通事業者等と連携した取組の推進

あいち観光戦略 2021-2023	
戦略の目的	愛知県観光振興基本条例が掲げる「魅力ある活力に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上」に向けて、観光関連産業の振興を図るもの
戦略の位置付け	<ol style="list-style-type: none"> ① 条例に定める「観光振興に関する基本的な計画」 ② 「あいちビジョン 2030」の観光振興分野の個別計画
目指す姿	～“Heart”of JAPAN セカンドステージ～ あいち「ツウ」リズム™を推進し、独自の強みを発揮する「観光県」
基本的な方針	戦略的な情報発信、幅広い県民参加、重点・牽引型
施策の柱	<ol style="list-style-type: none"> ① あいち「ツウ」リズム™の推進 ② 受入れ体制の整備・充実 ③ 観光交流拠点としての機能強化→モビリティ・マネジメント、交通インフラの強化 ④ MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo の活用→スポーツ大会の招致・開催 ⑤ 持続可能な観光の実現 ⑥ ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

第 5 次愛知県環境基本計画	
計画のねらい	2040 年頃までの長期を展望した上で、2030 年度までの間に取り組むべき施策の方向性を提示
計画の位置づけ	愛知県環境基本条例第 9 条に基づくとともに、「あいちビジョン 2030」に沿った環境分野での政策の方向性を示す
計画の目標	SDG s 達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」 ＜目指すべき姿＞ <ul style="list-style-type: none"> ・環境の各分野の統合的向上 ・環境と経済の統合的向上 ・環境と社会の統合的向上
施策展開の方向	SDG s の達成に向け、“複数の課題の統合的解決”、“新たな課題への的確・迅速な対応”、“「行動する人づくり」の推進”、“連携・協働による施策の展開”の 4 つの考え方を重視して、環境施策を展開する

愛知県港湾物流ビジョン	
ビジョンの位置付け	サプライチェーンからの県内 3 港（名古屋港・衣浦港・三河港）が取り組むべき方向性を示す
目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・機能強化：3 港の利用価値向上 ・ネットワーク強化：陸上輸送網の強化による物流の円滑化 ・共力：3 港の連携による港湾物流機能の強化
施策展開の方向性	輸送コストの削減・リードタイムの短縮・災害時のリスク軽減・環境負荷の低減